

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年3月17日

事業所名 障害児通所支援事業所 陽だまり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		規定の約2倍のスペースがあるので、児童が快適に過ごせる空間を確保できている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		どのような場合でも、職員配置基準以上の職員を配置して児童の安全に努めている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		障がい特性を考慮し、障壁を取り除いた全体が見やすい環境で、安全に活動できる空間づくりに努めている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日、建物内の清掃、消毒、片付けを行い、個々の活動に合わせた部屋を確保して、快適・安全に配慮した生活や活動の場を提供している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		会議・朝礼・終礼等にて、問題解決への話し合いや情報共有を行い業務改善に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いたご意見を基に業務改善に努めていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開すると同時に、保護者の皆さんが閲覧しやすいよう玄関に評価結果を設置している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価については今後も検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ZOOM研修等も取り入れ、定期的に内部研修を実施することで支援の質の向上に努めている。	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		児童や保護者のニーズを聴き取り、ニーズ漏れがないよう等注意して作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
援 の 提 供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		毎日、支援計画を見て確認できるようにしており、支援をスムーズに取り組める体制ができています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラム立案会議を開き、職員間で意見を出し合い立案を行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月、会議を設けて新しい活動内容を取り入れるようにしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団療育を主とした活動設定から個々に合わせた個別療育に取り組んでいる。	今後も細やかな支援を提供していけるよう取り組んでいく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		週間の役割分担表を作成し、朝礼時には打ち合わせを行い、視覚で分かるボード等も活用して情報共有している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼では意見を出し合い当日の振り返りや引き継ぎなどの情報共有を行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		簡潔に記録できるよう工夫しており、支援検証や改善等モニタリングができるよう取り組んでいる。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		支援の検証を行い、保護者から話を聴き、児童の状態に沿った支援を計画している。	
	関 係 機	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		必要に応じて行っている。	
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		併用利用している児童や移行時については、保護者の確認を取った上で情報共有を図り引継ぎを行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の確認を取った上で、関係機関との連携は積極的に行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所との連携には積極的に取り組んでおり、情報共有を図り助言等を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		子育て支援センターなどで遊びを通じて触れ合う機会を設けている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会の子ども部会等に積極的に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日の連絡帳以外にも送迎時等に保護者と対話して共通理解を図っている。	これからも保護者の皆さんが話しやすい雰囲気づくりを心掛けていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		充分ではないが可能な限りの支援は行っている。	専門的知識がまだ不十分なので、家族支援プログラムについての学びを深めていきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初めて福祉サービスを利用する保護者の皆さんに分かりやすい説明をと心掛けている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリング時や保護者との日々の対話から悩み等を聴き出して対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度は感染予防対策を実施した上で、保護者参加のお楽しみ会を実施し、保護者同士のつながりのきっかけや交流を促した。	今年度も感染症予防の考えから保護者会を開催することができなかった。今後は保護者同士が交流しやすい新たな形の場づくりを検討していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者から相談があった際は個室対応する等の配慮を行い迅速に対応している。	これからも適切な対応を心掛けていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		陽だまり会報、法人全体の広報誌やホームページに活動の様子等を掲載して情報発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			今後も職員相互で気をつけ注視していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもたちや保護者が気持ちを表出しやすい雰囲気づくりに心掛けている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		事業所(法人)主催の花壇のお花植えを、地域住民の方と一緒に行うことができた。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルに沿った取り組み、会議の実施を行っており、防犯カメラも設置している。	感染症対応については、今後も室内の二酸化炭素濃度を計測するなど予防策の作成や検証を行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回以上のペースで訓練を行い意識向上を図っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬援助等が必要な児童については契約時に詳しく確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時や必要に応じて食物アレルギー等については詳しく確認しており、おやつ提供時は皿や内容の区別をしてアレルギー発生防止に努めている	現在医師の指示書に基づく対応を必要とする対象児童はいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内だけでなく法人全体で共有し対策している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置し、会議等で話し合われた内容を職員間で共有し注意喚起している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束についての勉強会を会議等で行っている。	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。